

医療と Collaboration
座長総合コメント

座長： 3人の先生方の深い研究と、新しい知見を発表していただき、今後これらが保健医療の実践の場で生かされることを願っています。

今回のこのセッションのテーマは「医療とコラボレーション」ということです。そういう意味では、関口先生のデータを今後広げていくためには薬剤師の中だけでなく、病院経営や医療経済も問題になるでしょうし、中田先生の看護労働力の話も、もうすこし広げれば、外国人の問題にもつながり、あるいは雇用側の病院や医師の話も聞かなくてははいけないでしょう。また舩田先生の方は、ユーザーたる市民の声も聞いていかなくてははいけないでしょう。そういう意味では、今後研究を進められる際には、是非他分野とのコラボレーションを考えて、研究成果をより深めていただければと思います。